

羅臼町議会だより

しれとこ



親子3代漁師・ほっけ刺網漁（4月～12月）

平成20年

第120号

11月25日

第3回定例議会	2～3
一般質問	4～5
委員会サロン	6～7
ズームアップ	6～7

平成二十年 第二回 定例議会

九月十八日、第三回定例議会が開かれた。報告二件、議案十一件、認定七件などが審議されすべて原案通り可決した。

平成二十年

一般会計 一、六八五万円増

総額 三九億六、八七八万円

歳入

- 庁舎等使用料 二七万円
- 遠距離通学費補助金 二〇万円
- 地域再生チャレンジ交付金 九九〇万円
- 乳幼児医療費補助金 五五万円

歳出

- 〇総務費
- 消防事務組合負担金 三四三万円
- 知床・羅臼まちづくり基金積立金 二七七万円
- 備品購入費(紙幣計算機) 七万円
- 地域振興に要する経費 五四三万円
- 所得変更に伴う町・道民税還付金 五一一万円
- 海区漁業調整委員会委員選挙に要する経費 △二四八万円

- 海区漁業調整委員選挙執行委託金 △二二八万円
- 総務費寄付金 二七七万円
- 前年度繰越金 五〇〇万円
- (財)北海道消防協会助成金他 三五万円
- 臨時財政対策債 七万円

介護保険会計 一、二〇八万円増

総額 三億三、三三七万円

歳入

- 介護保険料 五万円
- 国庫負担・補助金 七万円
- 支払基金交付金 八万円
- 道負担金 三万円
- 一般会計繰入金 三万円
- 前年度繰越金 一、一八〇万円

歳出

- 居宅介護住宅改修費 二七万円
- 国庫負担金等返還金 一、一八〇万円

- 〇民生費
- 介護保険事業特別会計繰入金 三万円
- 〇衛生費
- 霊園管理運営に要する経費 六六万円
- 〇教育費
- 乳幼児医療扶助費 一一〇万円
- 備品購入費(食品用遠心脱水機) 七十一万円

町長行政報告

- 国保診療所医師招聘について
- マッカウス(ひかり苔)洞窟の一部開放について
- 消防団全国消防操法大会出場について

教育長行政報告

- 麻布歯科診療所再開について
- 漁獲高について
- 植別小中学校適正配置計画について

条例改正

- 羅臼町特別職報酬等審議会条例の一部改正
- 羅臼町議会議員の報酬及び費用弁償条例の一部改正
- 公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正
- 重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正
- ※法改正に伴う文言整理
- 羅臼町乳幼児医療費助成に関する条例の一部改正
- ※対象年齢「満六歳まで」を「満十二歳」に改正
- 特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ※「鳥獣被害対策実施隊隊員」の月額報酬の追加
- 北海道市町村備荒資金組立金返還規約の改正
- ※積立金返還規約の改正
- 羅臼町議会会議規則の一部改正
- ※「全員協議会」を明文化

付託案件

意見書

人事案件

平成十九年度 一般会計 歳入歳出決算認定 ※羅臼町各会計決算特別委員会

平成十九年度 国民健康

保険事業特別会計歳入歳出決算認定

平成十九年度 介護保険

事業特別会計歳入歳出決算認定

平成十九年度 老人保健

事業特別会計歳入歳出決算認定

平成十九年度 温泉供給

事業特別会計歳入歳出決算認定

平成十九年度 国民健康

保険病院事業会計歳入歳出決算認定

平成十九年度 水道事業

会計歳入歳出決算認定



委員長 坂本 志郎
副委員長 田中 良
委員 山下 崧
委員 高島 讓二

報告

- 平成十九年度決算に基づく健全化判断比率の報告
- 平成十九年度決算に基づく資金不足比率の報告

○漁業における燃油高騰緊急対策を求める意見書

原油価格の高騰による漁業用燃油の急騰は漁業経営を直撃しており、漁業を基幹産業とする地方経済は深刻な状況に陥っている。

国は本年度、燃油高騰緊急対策として新たな措置を講じてはいるが、漁業者への直接的な補填措置とはなっておらず、特に燃油消費量の高い漁船漁業にとっては、燃油コストの増大による赤字操業を余儀なくされ、出漁の断念や漁業経営の廃業などの危機的状況に陥っている。国は国内食料自給率を向上させ国民への水産食料供給を安定的に支えるため、国内漁業をしっかりと守り更なる発展が図られるよう次の事項について強く要望する。

記

- 一 漁船漁業者に対し、燃油の高騰による価格上昇分を直接補填する措置を講ずること
- 二 水産業燃油高騰緊急対策基金事業の継続・拡大と運用の弾力化を図ること
- 三 A重油・軽油の需要は逼迫化していることから漁業用燃油の安定化を図ること
- 四 燃油コストの上昇に見合った魚価対策を講ずること
- 五 洋上で使用される漁業用のガソリン税の免税措置を講ずること

○道路整備に必要な財源の確保に関する意見書

○国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

・羅臼町教育委員会

委員の任命

*石川 勝



(任期 平成二十年十月一日
～平成二十四年九月三十日)

*池田 栄寿



(任期 平成二十年十月一日
～平成二十四年九月三十日)



質

問

9月定例議会は9月18日、会期を1日と定め2議員が8件の一般質問を行った。各議員の質問要旨と答弁要旨をご紹介します。

福祉灯油制度・対象者を拡大し、今年度も継続実施せよ

坂本 志郎 議員

灯油価格の高騰は住民に不安を与えている。暖房用灯油の需要期は間近に迫っており、国や自治体が生活弱者に灯油の購入を支援する福祉灯油制度の実施・拡充は切実な要求です。

昨年、北海道では一八〇市町村中、一七六自治体がこの制度を実施しました。平成十九年度、羅臼町も実施し、その実績は予算一〇〇万円を計上し、該当者九二名、町の実質負担三〇万円で終了しています。今年度、道は各自治体の福祉灯油事業補助のため二億円を計上し、すべての市町村で実施してもらいたいと言っています。

羅臼町も平成二十年度、福祉灯油制度を継続し、高齢者の年齢制限、現行七十五歳以上を七十歳以上に引き下げて、対象者を拡大し、実施せよ。

町長

実施する方向で現在検討している

昨年実施した福祉灯油購入費助成事業は、灯油価格の著しい価格高騰により低所得世帯に大きな経済困難を招く恐れがあることから、一定所得以下の対象世帯に対し、灯油購入費の内、一世帯五千円の補助をしたものです。

今年度については、昨年度の実績をふまえながら、年齢・補助額について検討を進めていく。(年齢を七十五歳から七十歳にした場合、該当人数は四十七名増えることになる)

北海道においても福祉灯油について議会上程されていることから、その動向を見極め実施する方向で検討している。

診療所改築は高齢者保健施設と一体化で検討せよ

坂本 志郎 議員

高齢化が進行していく中

で、羅臼町が最低限確保しなければならない高齢者施設に「介護老人保健医療型施設(療養型老健)」があげられると思います。

新しい形の介護施設で、看護師が二十四時間配置されるなど、特別養護老人ホームや老人保健施設よりも医療が充実しているのが特徴です。

収容規模は三十床程度が適当と思うが、この施設が診療所と一体的に運営されれば羅臼町の高齢者対策は大きく前進します。診療所の改築計画と合わせて検討せよ。

町長

安定した医療の確保と合わせ民間活力の導入を含め検討する

介護療養型老人保健施設は既存の介護老人保健施設では対応が難しい入所者の医師による医学的管理や、看護師による日常的な医療処置への対応、看とりの体制なども充実した施設です。高齢者向け施設の整備が整っていない当町では、昨年度認知症高齢者グループホームが民間により整備さ

れたところですが、医療制度や介護保健制度が見直しされる中、安定した医療の確保と合わせて民間活力の導入を含め検討していく。

坂本議員によるその他の質問

- 市町村合併に関して
- 財政運営に関して
- 消防広域化計画に関して

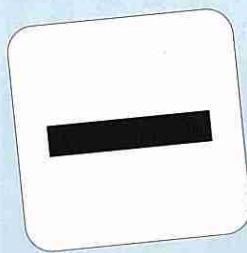
診療所運営について

高島 讓二 議員

九月より常勤医が二人体制となった。五ヶ月間、一人で頑張ってこられた所長に感謝の意を表したい。

昨年来、私は町民が本町に安心して住むためには時間外救急、入院の受け入れが最優先課題であると発言してきました。コンビニ受診の禁止を徹底する等が前提だが、常勤医二人体制になった事で午後八時頃まで救急受け入れの時間延長が可能にならないか。四月から八月までの収支

平成20年9月 定例議会



については当初の計画より二〜三割患者数が減少し、収入が減となっている。町外の病院に患者が流出していると思われるが、収入増のために、まず羅臼診療所にかかってもらう等、町民に愛される診療所として利用してもらう工夫が必要ではないか。

一方、支出は経費をいかに圧縮するかが課題であり町長は六月の定例議会での私の質問で人員のスリム化に努めるとの答弁をされたので、早急に改善して頂きたい。

町長

現行の体制を維持する

九月から医師二名体制だが外科医については、三ヶ月間の試行期間で勤務頂いている。救急受け入れ時間の延長については、医師とも相談のうえ医師を疲弊させないなど総合的に判断した結果、現行のままの体制を維持していく。

消化器外科医が着任されたことにより、患者増と胃カメラ・人間ドック・検診などの再開により、収入増

を期待する。

経費の削減は、人件費の削減については、四月の診療所化により、すでに取り組んでいる。今後は大きな削減は見込めないが、院内経営改善会議などを活用しながら、引き続き経費削減に努める。

本町の観光施策について

高島 讓二 議員

本町には世界自然遺産・知床を始め、豊かな自然があります。加えて海産物、動植物など、貴重な資源があり、それらを生かしていく事に大きな可能性を感じている。

町民になって感じることは、町民は自らの地域の魅力に気づいていないのではないかと、観光としての魅力を過少評価しているのではないかと。羅臼町の真の魅力は、町外から訪れる人々によって再発見されるであろうと確信する。

主要産業の水産業、水産加工業に加え、今後の町の発展のために観光の振興を

更に推進すべきである。

おりしも国は、平成十八年に観光立国推進基本法を制定し、観光を二十一世紀の柱として明確に位置づけ本年十月に観光庁が設置される予定となっている。

豊かな観光資源を有する羅臼町は今こそ新たな観光施策を打ち出していくべきである。

町長

関連団体と連携し推進する

宿泊施設の新設や増改築観光船の新規参入など、民間事業者による観光事業の拡大が進められている。

今年度の観光客の入込数は、七月末で前年度対比九・一三％減、観光客の入込みに対する宿泊率も十％以下と大変低く、依然として過型の観光と言わざるを得ない。

しかし、観光協会が主体となり滞在型観光を目指して漁業協同組合、商工会、水産加工振興協会等の連携・協力のもと、魅力ある自然や食材、産業を生かしたウニ体験プログラムやスケソ

漁見学、加工体験プログラム等が実施されている。

また、観光協会事務局長のインターネットのブログが人気を呼び、クジラウォッチング、バードウォッチングも好評で、今後の観光の目玉として大いに期待している。

町として、今年度から取り組んでいる産業活性化プロジェクトの中で、関連団体と連携を図り、各種事業を通し、地域の経済効果を高めるための活動を推進する。

高島議員による

その他の質問

◎町税、国保税、使用料の収納について

一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。

質問、答弁の全文については、詳しくお知りになりたい方は、町役場総務課までお問い合わせ下さい。

経済文教常任委員会町内視察

去る十月二十四日、経済文教常任委員会は町内四ヶ所の現地視察を行った。

○マッカウス洞窟

七月十七日、道路パトロール中に岩盤剥落が確認され、立入禁止になった。その後十月十日まで続いたが現在は小洞窟側のみ仮設の回廊が設置され、見学が可能になった。今後の予定に不透明な部分はあるが町内でも有数の観光地なため、一刻も早い全面開放が待たれる。



○知円別小中学校校舎管理

今年三月で閉校された知円別小中学校の内部に入りました。備品こそ多少はありましたが、がらんとした



校舎は今後どのようなように使用されていくのか明確なビジョンはまだありませんが、今後ムダが少しでも少ない方法で岬町地域住民の考え方も含め対応していかなくてはなりません。

○ルサ地区フィールドハウス建築状況

環境省の発注によるルサ川の横の空地に、世界自然



遺産の拠点として位置付けられた建物。一部RC造木造の二階建、建物の骨格は出来、順調な進捗状況でした。今後遺産と人との関わり合いの中で施設としての力を発揮してほしいものです。

○羅臼小学校適正配置



知円別小中学校が廃校になり、今年、受入側である羅臼小学校の校長先生にその後の状況について御話を伺いました。やはり最初は多少の違和感もあったようですが今ではどの子が知円別の子なのかもわからないような状況のようです。又、懸念されていたバス通学の問題も、多少の問題が起きたものの順調に動いているようでした。

遺産の拠点として位置付けられた建物。一部RC造木造の二階建、建物の骨格は出来、順調な進捗状況でした。今後遺産と人との関わり合いの中で施設としての力を発揮してほしいものです。

羅臼町敬老会 高齢者のつどいに参加

九月十日、議会は十人全員参加で合唱とハンドベルを鳴らす出し物をさせて頂きました。みなさんの良く知る曲を選んでみました。「ふるさと」「もみじ」「母さんの唄」と三曲やらせて頂きましたが、なにか練習不足が目立ってしまいました。それでもみなさんやさしく見てくれて、和気あいあいの中で終了することができました。



総務民生常任委員会町内視察

十一月四日、総務民生常任委員会は町内三ヶ所の現地視察と一件の総括質疑を行った。

○衛生管理型漁港

今年から使用を開始した全天候型埠頭は環境・衛生管理の推進と漁船の混雑解消を目的としています。

また一般見学者に対する見学ルートも設けて安全に見学が出来るように成りましました。今後施設の活用を期待する。



衛生管理型漁港

○町有財産管理状況

今年、町民へ売却予定の岬町の教員住宅は現在応募は無い状態で、今後貸与も含め考えていると説明を受けました。その他松法町・知昭町の町有地の売却も行う予定です。

○グループホーム「羅臼しおさい」

「おさい」視察

現在十八名収容可能な施設で十四名が利用しています。二十四時間利用者を介護している訳ですが、利用者が体調をくずした時に、病院との連係が一番の不安との事でした。早期解決を考えていかななくてはなりません。

○総括質疑

・診療所経営状況について
四月から九月まで約七千万円赤字であると報告を受けました。今後は支出の削減の検討を期待するところであります。現在、医療プロジェクトチームが診療所の指針を作成している段階なので動向に注視していきます。



グループホーム「羅臼しおさい」

漁火祭

第一回ぎらぎら

ステップボートレース

去る九月二十一日、全天候型埠頭において「第一回そらかけスコップ舟こぎレース」が行われ、十八チーム中第十位の成績となりました。参加チームの中で平均年齢が最高齢ながら完走という結果でした。

来場のみなさん方の応援を頂き、大変盛り上がったレースとなり、次回も多くのチームの参加を期待しながら、来年の健闘を誓いました。



いざ スタート!



なんとか完走、ゴール。ホッと一息!



中標津警察署チームと競り合い!

議会の動き

8月

- 22日 標津分屯地新入隊員歓迎会 議長
- 26日 退職手当組合定例会（札幌） 議長
- 28日 羅臼地区電力懇談会 副議長
根室地方総合開発期成会要望（東京） 議長
- 30日 札幌らうす会総会 議長

9月

- 6日 標津分屯地創立51周年記念祝賀会 議長
- 7日 第9回議長杯パークゴルフ大会 副議長
- 9日 議会運営委員会
- 10日 敬老会・高齢者の集い 議員
- 11日 経済文教常任委員会
- 12日 総務民生常任委員会
- 16日 議会運営委員会
- 18日 第3回定例会
- 28日 自民党北海道第7選挙区政経セミナー及び要望懇談会（中標津） 議長

10月

- 2日 衛生組合臨時会（標津）
正副議長・議員
- 6日 第1回決算特別委員会
- 7日 管内議長会議員研修会（中標津） 議員
- 12日 羅臼消防団全国大会出場（東京） 議長
第18回クナシリ眺望駅伝 副議長
- 15日 北方四島交流団来町 正副議長
- 16日 第2回決算特別委員会
- 20日 議会運営委員会
全員協議会
- 22日 第3回決算特別委員会
- 24日 経済文教常任委員会町内視察
- 27日 議会だより編集委員会
- 29日 第4回決算特別委員会

11月

- 4日 総務民生常任委員会町内視察
- 6日 医療再生プロジェクト中間報告議員説明会
議会運営委員会
- 10日 議会だより編集委員会
- 14日 第5回決算特別委員会（総括質疑）
議会だより編集委員会
- 17日 羅臼町表彰式
- 19日 第52回町村議会議長全国大会（東京都） 議長
- 20日 北海道の自衛隊体制維持を求める中央決起大会（東京都） 議長

平成20年度 管内議長会議員研修会

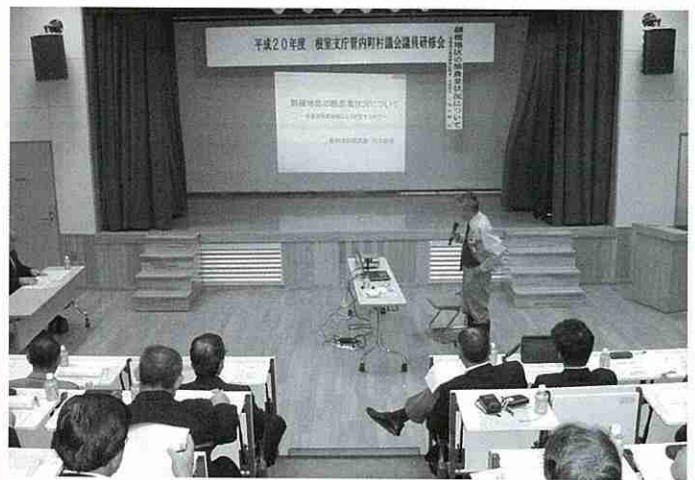
十月七日、中標津経済センターにおいて毎年行われる根室管内四町の議員研修会に総勢四十九名が参加し開催された。本年のテーマは「根釧地区酪農業状況について」北海道立根釧農業試験場、研究部長、三木直倫氏の講演があり

- ・ 乳牛管理技術
- ・ 飼料の問題
- ・ 無除草剤更新技術
- ・ 乳牛の周産期疾病の予防策

などについてお話を聞いた。

また、根釧の牛乳のブランド化やイメージアップを図る工夫が必要などの提言があった。

講演終了後に、中標津町郊外の広大な敷地に二〇〇三年に新しく設置された大変環境の良い北海道立根釧農業試験場を視察し、研修を終えた。



寒くなってきました。今回は両委員会とも、町内現地視察を行い、今問題となる様々な場所へ、それぞれ足を運びました。使用方法、新築状況、今の現状、今後の活用方法などいろいろな事が問題です。その中で何が一番ベターなのか？いろいろ考えていかなくはなりませんね！！

小野

